



## 考えと気持ちを聞き合う

### ◆「話し合う」から「聞き合う」に

「知」の目指す子供像は「考えと気持ちを聞き合う子」。学級づくり・授業づくりを聞き手・受け手の側から考えてみようとして設定しました。「表現する」「話し合う」等、発信する側の研究から受ける側の研究へと視点を転換することにより、実践を通して新たなことを見いだせると考えたからです。「聞き合う」とは、どのような姿を指すのでしょうか？今のところ、教師間では明確な姿を共有できていません。そのため、校内研修はこれまでの仮説検証型から、教師一人一人が自ら、目指す子供の姿を設定し研究する課題解決型になっています。

### ◆気持ちが分かる

授業では、「Aさんに似ていて…」とか「Bさんに付け足して…」から話し始める子供の姿を見かけます。友達の考えを聞いているからこそその発言です。「ちょっと迷っていて…」とか「自信がないんだけど、たぶん…」から始まる発言に対する聞き手の反応は違います。前のめりで、発言者に熱い視線を注ぎながら聞いています。うなずきも多いです。友達の気持ちに寄り添って聞いているからでしょう。聞き終えるや否や「分かる、その気持ち。」と声が出る学級は、日頃から友達との「聞き合い」が行われているのだと思います。

### ◆質問に質問で返す

漫才師で高岡市議会議員の嶋川武秀さんによると「質問に質問で返す」のが富山県民の特徴とのこと。例えば、「このおいしいトマト、お母さんがつくられたのですか？」には、「誰がつくったと思う？」「どうやってつくったと思う？」と。「駅へは左右どちらへ行けばいいですか？」には、「どっちやと思う？」。対話を楽しんでいるかのようです。このことをネタにした漫才は私の一番のお気に入り。「分かる！」と共感できるからこそその捧腹絶倒。（本県では大うけでも、他県ではさほどではないらしい。）相手との対話を楽しみながら、相手の心情に寄り添い、共感しているときに「聞き合い」が成立しているのではないかと、今のところ考えています。家族との「聞き合い」にあふれる夏休みでありますように。（犀川）

### < 8・9月の主な行事予定 >

8月26日(金)	始業式
9月1日(木)	集団登校
8日(木)	市芸術鑑賞会(4年生)
9日(金)	避難訓練(休憩時火災)
	さわやかデー・学校集金
	ベルマークの日
12日(月)	クラブ活動
15日(木)	集団登校
25日(日)	PTA親子清掃(未)
26日(月)	委員会活動
29日(木)	校内学習発表会
30日(金)	集団登校

### < 10月の主な行事予定 >

2日(日)	学習発表会・お弁当展
3日(月)	振替休業日
4日(火)	委員会活動
11日(火)	さわやかデー・学校集金
	ベルマークの日
	クラブ活動
14日(金)	集団登校
18日(火)	就学時健康診断
21日(月)	クラブ活動
31日(月)	委員会活動



### ～ぽかぽかコラム 2年生の取り組みから～

2年生は、生活科の時間に野菜を育てています。3種類の苗を植え、水やりの方法や支柱の立て方などを各自で調べたり、聞いてきたりして知恵を出し合いました。中には、虫に食べられてしまうというハプニングもありましたが、お店で見るきゅうりより大きいきゅうりがたくさんなっているのを見て、「おぼけや！」「こんなにたべられない！」と、毎朝盛り上がっています。おいしく食べられるタイミングを見極め、たくさん収穫できることを楽しみにしている子供たちです。

2年担任 尾田 一翔

## 教育活動から

民謡クラブでは、発表会に向けて練習しています！

お茶・お花クラブでは、お茶の作法を練習しています！



### 意欲が高まる外国語の授業を目指しています

小学校では、3、4年生で外国語活動を、5、6年生では外国語科を学習しています。その中の授業の様子を紹介します。

外国語活動が始まったばかりの3年生は、「How are you?」の挨拶や、「<sup>ワン ツー スリー フォー</sup>1、2、3、4、・・・」などの数の言い方に慣れ親しんだところです。英語で言える言葉が少しずつ増えて、楽しそうです。

4年生では、「What time is it?」と、時刻を尋ねる練習をしました。数がたくさん出てきましたが、子供たちは3年生の時に歌った数の歌を思い出して、時刻を英語で伝えようとがんばっていました。

5年生は、誕生日やほしいものを尋ね合ったり、好きな教科や将来の夢を伝えたりする活動に取り組みました。自分の考えを単語と単語をつないだ文にして伝えようとする姿に、子供たちの成長を感じました。

6年生は、世界の国の有名な建物や食べ物を取り上げ、タブレットで写真を見せながら、スピーチを行いました。スピーチ本番に向けて自分たちのスピーチする姿を録画して確認したり、互いのスピーチを見てアドバイスし合ったりする子供もいて、とても頼もしく感じました。

このような活動をする中で、子供たちもどんどん意欲を高めています。子供たちに、英語を使って何をしたいか訊ねたところ、「外国人と話したい」、「仲良くなりたい」と答えた子供が半数以上いました。本校では、アメリカやオーストラリア出身のALTがいます。ALTとのやり取りをはじめ、様々な機会をとらえて、子供たちの願いに寄り添えるように、授業や発表を工夫し、改善していきたいと考えています。



ALTと英語でやり取りする子供たち

外国語専科 石崎 敦子